



NEWS RELEASE

白鶴酒造株式会社

神戸市東灘区住吉南町四丁目五番五号

2007年5月21日

平成 18 酒造年度 全国新酒鑑評会において 「白鶴酒造(株) 本店三号工場・本店二号蔵・旭蔵」の三酒造場が金賞を受賞

白鶴酒造株式会社（本社：神戸市、社長：嘉納健二、資本金：4 億 9,500 万円）では、平成 18 酒造年度全国新酒鑑評会（独立行政法人 酒類総合研究所 主催）において

1. 本店三号工場
2. 本店二号蔵
3. 旭蔵

の三酒造場すべてが金賞を受賞しました。

醸造技術と品質の更なる向上を目的とした平成 18 酒造年度全国新酒鑑評会は広島県東広島市の独立行政法人酒類総合研究所にて 4 月 24、25、26 日に予審、5 月 9、10 日に決審が行われ、21 日にその結果がホームページ上（<http://www.nrib.go.jp>）で公開されました。

通算 95 回を迎える本年の鑑評会には全国各地の蔵元から 981 点の大吟醸酒が出品され、予審を通過した入賞酒 484 点で決審が行われた結果、最終的に 252 点に金賞の栄誉が与えられました。

当社においては、本店三号工場、本店二号蔵、旭蔵の三酒造場が金賞を受賞しました。

なお、6 月 7 日には東京池袋サンシャインシティにて一般公開が行われる予定です。

今回の金賞受賞を機に「白鶴 超特撰 旭蔵 金賞受賞酒 720ml 瓶詰」を 7 月から全国で発売を予定しています。

以上